



Sagrada Familia - 聖家族 -

サグラダ ファミリア

2026年ご復活特別号
(4月5日発行)

発行：カトリック水戸教会 広報部

希望は生きています! ~主任司祭からのイースターメッセージ~

2026年の復活祭を迎えるにあたり、私たちは重い心で世界の現状を見つめています。

アメリカ合衆国、イスラエル、イランをめぐる緊張や戦争のニュースは、多くの人々に苦しみをもたらし、世界中に不安と恐れを広げています。ここ日本においても、物価の上昇や将来への不安など、その影響を日々の生活の中で感じています。多くの人が「希望はどこにあるのか」「神はどこにおられるのか」と問いかけています。

このような状況の中で、私たちは主イエス・キリストの復活を祝います。復活祭は、単なる過去の出来事ではなく、私たちの信仰の中心です。イエスは苦しみ、十字架の上で亡くなり、葬られました。すべてが終わったかのように見えました。しかし、三日目に復活されました。これは、死が最終的なものではなく、闇が勝利することはないことを示しています。神の愛は、罪や苦しみ、そして死にさえも打ち勝つのです。

復活は、私たちに人生を見る新しい視点を与えてくれます。困難の中にあっても、私たちは決して一人ではありません。弱さを感じる時、主は力を与えてくださいます。悲しみや喪失の中にあっても、主は共に歩んでくださいます。最も暗い時にも、神は新しい命と希望をもたらしてくださるのです。

しかし、復活祭は祝うだけでなく、生きるべきものでもあります。私たちは日々の生活の中で、復活の証人となるよう招かれています。祈りと神の御言葉によって主に近づき、聖体を通して復活された主と出会い、また、忍耐とゆるし、思いやりをもって隣人に接することによって、その使命を果たしていきましょう。

分断と暴力に満ちた世界の中で、私たちは平和の担い手となるよう呼ばれています。平和は、家庭や職場、小教区といった身近なところから始まります。優しい言葉、助け合い、耳を傾ける心は、復活されたキリストのしるしです。

水戸カトリック教会に集う私たちは、キリストにおける一つの家族です。苦しんでいる方や孤独を感じている方々を支え合い、希望をもたらす共同体となりましょう。小さな光であっても、闇の中で大きく輝きます。皆様、希望は生きています。キリストは復活され、私たちと共におられます。どうか恐れず、信仰と信頼をもって歩んでまいりましょう。

復活された主が皆様の心を平和で満たし、信仰を強め、世界に真の平和をもたらしてくださいよう、お祈り申し上げます。復活祭おめでとうございます。

ペトルス・アド・ベララウエ (ルスニ神父)

てんれいぶ 【典 礼 部 だ よ り】ふ た つ の 秘 跡 ~

せんれい ひせき 「洗 礼」と「ゆるしの秘跡」~

ありがたいことに、今年ことしの「復活ふっかつの聖せいなる徹夜祭てつ や さい」では洗礼式せんれいしきがありました。受洗者じゅせんしゃの方かた、おめでとうございます。

さて、洗礼式せんれいしきのとき、神父様しんぶさまは『わたしは、父ちちと子こと聖霊せいれいのみ名なによって、あなたに洗礼せんれいを授さずけます』と言いいながら洗礼せんれいを授さずけます。

ゆるしの秘跡ひせきのとき、神父様しんぶさまは『わたしは、父ちちと子こと聖霊せいれいのみ名なによって、あなたの罪つみをゆるします』と言いってゆるしを授さずけます。

この2つのことばが似にているのは、偶然ぐぜんではありません。

カトリック教会きょうかいの教おしえの内容ないようをまとめた『カトリック教会きょうかいのカテキズム』という分厚ぶんこうい本ほんがあるのですが、その「ゆるしの秘跡ひせき」についてのページには『洗礼せんれいこそ最初さいしょの基本きほん的な回心かいしんの場ばなのです』(『カトリック教会きょうかいのカテキズム』1427)と書かかれています。「洗礼せんれい」の話しはなしから始めはじめないと「ゆるしの秘跡ひせき」について話かたは語かたれないのですね。

洗礼せんれいを受けるのは、全すべての罪つみがゆるされ、キリストのいのちを受うけるということです。

しかし、使徒聖しとせいヨハネの『自分じぶんに罪つみがないと言いうなら、自らみづかを欺あざむいており、真理しんりはわたしたちの内うちにありません』(Iヨハネ1・8)ということば通り、受洗後じゅせんごもわたしたちの内うちには罪つみへの傾かたむき(伝統でんどうてき的に「欲情よくじょう」とか「罪つみのかまど」と言いわれます)が残り、現いまにわたしたちは罪つみをおかします。神様かみさまを裏切うらぎり、誰だれかに迷惑めいわくをかけ、いつも心こころの中なかで「ごめんな

さい」と言いっているのが、わたしたちの日常にちじょうではないでしょうか。

だからこそ「ゆるしの秘跡ひせき」があります。と言いいますか、回心かいしん(悔くい改あらため)による「ゆるし」という恵めぐみは「洗礼せんれい」から始はじまって、「ゆるしの秘跡ひせき」へとつながっていく、と言いった方がいほういでしょうか。

初代教会しゅだいきょうかいのころの「ゆるしの秘跡ひせき」は、迫はく害がいに負まけて教会きょうかいを捨すてたことや姦通かんつう・殺さつじん人などの大おおきな罪つみについて公おおやけの(教会きょうかいの皆みなの前まえでの)告白こくはくと長ながい年月ねんげつの償つぐないの後あと「1度どだけはゆるされる」という形かたちでした。一生いっしょうでただ1回かいだけです。そのためこの秘跡ひせきは「恵めぐみの喪失そうしつという難破なんぱの後あとに投とうじられる、救すくいの2枚目まいめの板いた」と呼ばよばれました(1枚目まいめの板いたはもちろせんれいん「洗礼」です)。

今いまのような個別こべつの「ゆるしの秘跡ひせき」の形かたちができたのは7世紀せいきごろ。一人ひとりひとりが他ほかの誰だれにも知しられず告白こくはくでき、大おおきな罪つみだけではなく日ひ々の生活せいかつで「やらかしたこと」も聞きいてもらもらえるようになったのです。しかも回数かいすうは無む制限せいげん。ずいぶん楽らくになりました。

「ゆるしの秘跡ひせき」が、待降節たいこうせつや四旬節しじゆんせつに「受けなければならうない」義務ぎむや試験しけんのようおもに思おもえることはありませんか。そうではなく、自分じぶんの洗礼せんれいの続つづき、洗礼せんれい(あるいは初聖体はつせいたい・堅信けんしん)に立たち返かえる信仰生活しんこうせいかつのメンテナンかんがスとして考かんがえてみるのはいいかがでいしょうか。

典 礼 部 / 〇〇〇〇 監 修 : ルスニ神父・シスター今田

【レポート】岩本直美さん報告会～小さいものからくる平和～

3月20日（金）ミサ後、日本キリスト教
海外医療協力会バングラデシュ派遣ワー
カー岩本直美さんの報告会が開催されました。
岩本さんはカトリック信徒の看護師で、1993
年からバングラデシュでお仕事をされていま
す。現在は、カトリック・ミラノ外国宣教会
に派遣され、バングラデシュ北西部ディナチ
プール県でこの宣教会が運営する施設で、
知的障がいがある子どもとその家族を支援
する活動に携わっています。

ディナチプールは産業が無く、インドから
簡単に薬物が流入してくるため、薬物依存
症の人が多いとのこと。また子どもに
障がいがあることがわかると、家を捨てて
別の女性と家庭を作ってしまう男性も多いと
のことです。

最初にお話された子どもは、とても大変な
境遇にありました。最初は路上で発見され、
その時の体重は8歳で12kg、父親はオート
三輪タクシーの運転手ですが薬物依存症、
母親は軽度の知的障がい、日本で言うところ
のひどいネグレクト状態に置かれていた子
どもでした。岩本さん達はまずこの子の栄養
改善に取り組むとともに、障がい者手当の取
得のために役所を奔走しました。しかし最初
の障がい者手当を受け取るとその父親はお
金を持ったまま姿をくらます始末で大変な
状況でしたが、最終的にはこの大変もろい
家族を支えることに成功しました。



報告会での岩本直美さん。
2026年3月20日、水戸教会聖堂にて。

毎月お米を支援して下さる食堂店主のお
じさんの話も印象的でした。そのおじさん
は政治的抗争に巻き込まれお店をめちゃめ
ちゃに破壊されてしまうのですが、「お店が焼
かれなくても良かった。」と言い、お店が
破壊されたあとも施設にお米を送って下さっ
たそうです。

「私たちは、自分たちの気づかないところ
で他者に助けられている。」「弱く小さくされ
た人達が、私たちが平和への小さな道に導
いてくれている。」という、最後の締めくくり
の言葉が心に響きました。

執行部/〇〇〇〇

きたかんとく むりょう いりょうそうだんかい てつだ
「北関東無料医療相談会」手伝い



2026年2月22日、イエズス・マリアの聖心
 会友部修道院において、AMIGOSによる第71回
 の「無料医療相談会」が開催され、61名の
 仮放免の方と10名ほどの困窮している外国
 籍の方々が健康診断を受けました。

10名の医師、4名の歯科医師はじめ80名ほ
 どのボランティアが参加しました。驚くこと
 にその多くの方々は未信者で遠く県外から来
 られています。皆さん長澤助祭の「命の危機
 にさらされている困窮している外国の方々
 を助けたい」という思いに賛同してのことと
 思います。水戸教会からは前日の準備から
 11名の方々が参加し、医療相談やお弁当や
 食料品、衣料品の配布を担当しました。
 お天気にも恵まれ、神様の愛に包まれた素晴
 らしい1日でした。普段、苦しい思いをして
 いる仮放免の方々がひと時でも大切にされて
 いるという思いを感じていただけたらと思
 います。

県の女性の会/〇〇〇〇

【墓地管理委員会より】 ~ 春季墓地ミサのお知らせ ~

今年も春季墓地ミサを開催いたします。

■日時：4月25日（土）11：00より

■場所：カトリック水戸教会墓地

※雨天の場合は、カトリック水戸教会聖堂にてミサ
 を行います。

墓地・納骨堂をお持ちでないの方々のご参加
 もお待ちしておりますので、よろしく
 お願いいたします。

墓地管理委員会

【編集後記】

復活祭を迎え、主イエス・キリス
 トのご復活の喜びを皆さまと分
 ち合える恵みに、心より感謝申
 上げます。

本号では、各地の共同体の歩み
 や信仰の証しを通して、試練の中
 にも確かに働かれる神の愛と希望
 のしるしをお伝えいたしました。

混迷する世界の中にあっても、

復活の光は決して消えることなく、
 私たち一人ひとりを新たな歩みへ
 と招いています。この喜びと希望
 が、日々の生活の中で豊かに実を
 結び、周囲の人々へと広がってい
 きますようお祈りいたします。

今後ともサグラダ・ファミリア
 へのご支援とご協力を賜りますよ
 う、よろしく願い申し上げます。

ご意見・ご要望は水戸教会（広

報部）メールアドレス

info@catholic-mito.com

までお寄せ下さい。よろしく願
 います。広報部/〇〇〇〇

サグラダ ファミリア

Sagrada Familia - 聖家族 -

2026年ご復活特別号（4月5日発行）

発行：カトリック水戸教会広報部

<https://catholic-mito.com/>

編集 〇〇〇〇